



アイスホッケーの試合やコンサートの会場にもなるBCプレイススタジアムがスタート&フィニッシュ(写真右)。20km過ぎから約7kmはスタンレーパークの中を走る



大自然と都市型マラソン 両方を同時に満喫

5月4日(日)バンクーバーマラソン(カナダ)



全8種目に1万2815人が参加。フルマラソンはバンクーバー市内をくまなく走るコース設定で、ある雑誌の調査(「The Economist Intelligence Unit」調べ)で「世界一住みやすい町」に5年連続で選ばれている町の魅力を存分に味わえる

「後半のアップダウンがきつかったですが、日本にはない自然の景色をゆっくり楽しみました」と2人揃っての完走(5時間30分41秒)を喜んでいました。

日程がゴールデンウィークと重なっていることもあり、日本からも127人が参加。「ずっとこの大会を走りたいと思っていた」という市原久義さん・由美子さんご夫妻は、「ランニングショップが数多く、店ごとにクラブが作られており、走ることが生活の一部になっている女性が多いからではないでしょうか」

また、女性ランナーが多いのも大きな特徴。フルマラソンでは約40%が、ハーフマラソンに至っては約65%を占めており、コース上は華やかな雰囲気。その理由を地元ランニングショップのオーナー、キース・ニコル氏が教えてくれた。

カナダというと「北国」のイメージが強い(実際、バンクーバーは北緯49度で稚内よりも北に位置している)が、太平洋の暖流のおかげで、日中は日本の初夏を思わせる爽やかな気候。年間を通じて雪で道路が閉ざされることもなく、ランナーの割合は他の地域に比べても高いそう。

レース当日もスタート時の気温は8℃(最高気温は17℃)と絶好のコンディション。会場のBCプレイススタジアムはオリンピックでの開会式・閉会式の会場にもなっており、選手宿舎の建設などが進んでいる様子を目の当たりにできる。

事前に「コースは平坦」と聞いていたが、標高差の少ないアップダウンが続き、走り応えはなかなかのもの。コーナーも多く、決して記録を狙いやさしいとは言えないが、これは町の魅力を味わってもらうため!? 高層ビルが立ち並ぶ町の中心部や、バンクーバー発祥の地で約100年前の町並みを残す「ガスタウン」。森と海のコントラストが美しいスタンレーパーク。「カナダ西海岸最大の都市でありながら海と山に囲まれた調和の町」を肌で感じることができる。

2

010年の冬季オリンピック開催地となっているバンクーバーだが、春先にはランニングイベントが目白押し。4月の「SUN RUN」という10kmのレースには6万人もが集い、トライアスロン世界選手権も開催される。そしてこのバンクーバーマラソン。町中には大会開催を知らせるパナールが張り巡らされ、スポーツが盛んな様子うかがえる。



沿道の観衆は多いとは言えないが、皆が大きな声援を送ってくれる

●大会 DATA

第37回バンクーバーマラソン

| | |
|----------|------------------------|
| ・総エントリー数 | 1万2815人 (うち日本人127人) |
|----------|------------------------|

| | |
|----------------------|---------|
| フルマラソン | 3830人 |
| ハーフマラソン | 6572人 |
| ・男子優勝 Thomas Omwenga | 2:15:57 |
| ・女子優勝 Mary Akor | 2:37:52 |



ちょうど八重桜が満開を迎え、コースのあちこちで咲き誇っていた。写真左側を歩いているのはフルマラソンの1時間前にスタートした「ウォーキング」の参加者



カナダの中では比較的温暖なバンクーバー。スタンレーパークでは温帯雨林の深い森の間を走る



遠くにノースショアの山々を臨む。海からすぐに山になっていることもあり、海沿いを除くと、町の中には坂道が多い